



2023年10月27日

各 位

会社名 ENECHANGE株式会社
代表者名 代表取締役CEO 城口 洋平
(コード番号：4169 東証グロース)
問合せ先 執行役員CFO 杉本 拓也
(TEL 03-6635-1021)

よくある質問と回答（2023年10月）

日頃より、当社へのご関心をいただきありがとうございます。今月投資家様より頂戴した主なご質問とその回答について、下記の通り開示致します。

なお、本開示は投資家様への情報発信の強化とフェアディスクロージャーを目的に、毎月月末を目途に開示するものです。回答内容については、時点のずれによって多少の齟齬が生じる可能性があります。直近の回答内容を最新の当社方針として回答を記載しております。

Q1. 直近、中東情勢が緊迫していることで原油価格が高まっているが、御社のビジネスにどのような影響が想定されるか。

ロシア・ウクライナ危機を契機とする原油価格等の高騰を受け、新電力各社は、電気料金の値上げや価格改訂を行ってきました。その結果、現在では、原油価格等の高騰が以前ほど直接的に新電力各社の収益性に悪影響を及ぼす構造ではなくなっており、現時点においては、新電力各社のユーザー獲得活動の減退は見受けられず、当社に対する報酬の減少という悪影響も想定はしておりません。よって、直近の中東情勢の緊迫に伴う原油価格の高まりは、現時点で影響はございません。なお、今後、当社に対する何らかの悪影響が想定される場合には、適時適切に開示してまいります。

Q2. 10月17日開示の「（開示事項の経過）シンジケーション型コミットメントライン契約の終了に関するお知らせ」記載の「本事業の運営方針における一部変更」とはどういった変更か。

シンジケーション型コミットメントライン契約は、当社のEV充電事業に関して、当初は当社が工事等の発注主体となることが見込まれたため、本事業の急激な成長拡大に伴う資金需要に対応する目的で締結いたしました。その後、関係各所との交渉や調整を経て、当社が工事等の発注主体とならないスキームでの取引形態での事業運営が可能となり、結果としてシンジケーション型コミットメントラインの活用が当初想定ほど発生しない見込みとなったため、契約を終了することとなりました。取引形態の詳細については競争優位性の観点から説明を差し控えさせていただきます。なお、受注活動やEV充電器の設置活動は順調であり、今後、決算発表時に進捗状況の開示を予定しております。

Q3. 10月23日のリリースで、御社が普通充電設置口数がNo.1になり、EV・PHV年間累計新車販売台数も10万台を突破したようだが、今後の見通しを教えてください。

当社は2022年秋よりEV充電事業に参入し、この度、普通充電設置口数が国内No.1となりました。このポジションを維持し、更なるシェアを拡大していくことで普通充電インフラのカテゴリーリーダーになれると考えております。また、EV・PHV新車販売台数も10万台を突破したことで、今後EV車両のストックが更に積みあがることで充電ステーションの稼働状況も向上していくものと考えております。直近の充電時間の状況は計画を上回る水準であり、更なる稼働率の向上にむけ、ユーザービリティの向上を図ってまいります。

Q4. 市況の影響もあるが、直近の株価低迷を心配している。御社の事業進捗状況に対して、株価動向をどうお考えか。

当社事業は順調に進捗しており、下半期の黒字化を見込んでおります。直近の株価状況について、株主様にご心配をかけてしまい申し訳ございません。できる限り、透明性の高いIR活動を実施し、株主価値の向上に努めてまいります。EV充電事業等の新規事業においては、当社が市場のカテゴリーリーダーになるべく、競争上の観点からすべてのアクションをパブリックに開示しないようにしておりますことをご了承ください。引き続き、当社の応援をいただけますように事業拡大に尽力してまいります。

Q5. 補助金申請に関して、入札結果やそれに伴う通期への業績影響はいかがでしょうか。

EV充電事業における補助金申請及び審査状況は順調に進捗しており、当社が想定していた案件数の審査通過が見込まれますが、まだすべての申請案件の結果が完全に出ている状況ではありません。すべての申請案件についての審査結果、及び審査結果を踏まえて2023年12月末までの工事スケジュール等が確定次第、業績への影響を精査し必要であれば速やかに業績予想の修正を開示する方針であり、11月10日の2023年12月期第3四半期決算発表と同時に開示する可能性もございます。

以上